

第51回教誨師中央研修会（JKA競輪補助事業）

平成28年8月30日(火)～31日(水)開催

基調講演

演 題 「矯正の現状」
—薬物依存離脱指導の新展開—

講 師 法務省矯正局成人矯正課長 松村 憲一氏

講 演

演 題 「薬物依存者の孤立化」
講 師 「日本ダルク本部」代表、NPO法人「アパリ」理事長

近藤 恒夫氏

講 演

演 題 「人のちから」
講 師 府中刑務所教育専門官

谷澤 正次氏

研修の成果

今年度の中央研修会研修参加者から総合評価として、研修テーマ、講演内容及び研修日程（1泊2日）等は適切であったと評価を受けた。

矯正施設に収容されている薬物事犯者の数は多く、教誨活動を行う上で教誨の対象者になる可能性が高いことから、薬物事犯者が抱えている特有な心の悩みや精神状況等について、講演を拝聴して多くの情報を得ることができた。

また、刑事施設に勤務している職員から刑事施設における改善更生プログラムの取り組み等についての発表があり、更生意欲の喚起及び社会生活に適應できるための能力を向上させ、再犯、再非行防止のために様々な教育や指導が行われていることが理解できた。

分科会では、全国から集まった研修者が所属する施設の教誨活動状況や特色等について情報交換を行うとともに、薬物事犯者に対する教誨をどのように行っていくべきかについて討議することができ、有意義な研修会であった。

今後の課題として、所属する矯正施設側と情報交換を密に行い、施設における処遇との連携を取っていく必要があることの見解が多く出されており検討を要する点として挙げられる。

研修会場



講 演

